

STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ2012推進ニュース

「社会保障・税一体改革」阻止・介護保障制度の抜本改善を！！

-今年も介護の“Big Wave”をおこそう！-

5/20(日)東京の全労連会館にて、中央社保協主催の

「2012年 介護改善運動全国交流集会」が開催されました！

北は北海道から南は福岡まで、100人が集い、4月からスタートした改定報酬の下での利用者、介護現場の現状や介護改善を求める各地の取り組みを交流しました。



学習講演では、日下部雅喜さん（大阪社保協）から、今回の報酬改定の問題点・今後のたたかいの方向について問題提起がされました。

生活援助の切り捨て、介護保険料、特養待機者など制度改定の下で起こっている問題を明らかにするとともに、こうした中で私たちの運動が分断されていると指摘。学習会の組織、地域実態の把握、国や自治体への働きかけなど、利用者の生活と権利を守る取り組みを全国レベルで利用者・ご家族などの当事者と一緒に進めていこう！と呼びかけました。



特別報告は8つ。

○**日本医労連**介護対策委員の米沢哲さんからは、「医療行為が解禁され、安上がりに医療の肩代わりをさせられている。介護職自身が実態を見抜き、「忙しさ」に埋没せずに取り組んでいく大切さ」が報告されました。



○**東京NPO法人地域福祉サービス協会**の大野茂廣さんからは介護事業の中で、利用者が利用料の増額を耐えられず、自ら短時間介護を選択したり、登録訪問ヘルパーの訪問時間の減少、収益減など4月からの変化の状況が話されました。



○**京都ヘルパー連絡会**の浦野さん・櫻庭さんからは時間短縮への抗議の取り組みの様子が語られました。「洗濯が終わらない！」ビラなどわかりやすく、誰でも参加しやすく、世論を巻き込んでたたかっていくと力強く発言されました。



○**介護している家族として**東京の吉田紀夫さんから「根気強いヘルパーさんの援助のおかげで妻のオムツがとれた。15分だの20分だの、そんなんで生活援助ができるわけない。賃金も他の産業より低いのは驚いた。働いている人の誇りが守られて、はじめて私たち利用者も幸せになれる。利用者と働く人、足並みそろえてみなさんと一緒にやっていきたい」とエールをいただきました。

○**障全協**の家平悟さんは「障害者総合支援法は介護保険をモデルにして改革が進んでいる。65歳になると介護保険が適用され、今の応益負担制度では、障がいが重い人ほど、より負担が大きくなる。当事者運動で障害者の立場から、介護保険へ影響を与えていきたい」と訴えました。

○北海道からは昨年11月から今年3月までのダイナミックな要請行動の報告がされました。北海道内をキャラバンでまわり、17自治体に要請。15自治体で採択。市議会での陳情も行われました。道内選出国會議員要請行動では、議員から「(改正の)問題点は分かっているけど、力足らずで申し訳ない」との言葉を引き出しました。2月の介護集会はマスコミと道内の1000事業所へお知らせを

出しています。

「職場の声は確実に国政に届いています！」

これがスゴイ!!



フロアーからの発言は8人

利用者の思いをケアマネジャーが代弁した発言など、介護が高齢者の生活を支えている、これからもがんばらなくてはいけないという思いを新たに発言になってしまったのが残念でした。

○黒岡有子さん(石川)「今まで自分たちがやらなくて誰がやるということで、ヘルパーの会」ができた。今日は全国の熱い思いが聞けて、参加して本当によかった。」

やらなくてもいいと思っていたが、自分た
石川で「よりよい介護をめざすケアマネジャーとヘルパーの会」

6月21~22日 2012年同時改定対応検討交流集会

申し込み〆 6月8日(金)

集会に向けて、ただいま事前調査を行っています。

全国の取り組みや対応をおおいに学びあいましょう！

6月28日(木)に介護の国会行動

やります。4月からの熱い思いを国会へ！！

ニュースに載せるおたより募集中。ステキなイラストなどもお寄せください！

2枚1組
注文受付中!
1000円
介護ウェーブのぼり旗



お問い合わせは・ご注文は、「介護ウェーブ推進本部」事務局：諏佐・山平まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp